

景ビルメンテ協が清掃

織田、西田中バスターミナルで



ガラスや床を清掃する協会員＝越前町織田、16日



丁寧に窓ガラスの汚れを拭き取る＝越前町朝日

公益社団法人福井県ビルメンテナンス協会(廣瀬充会長)は16日、越前町織田の「織田バスターミナルセンター」および朝日の「西田中バスターミナル」において、清掃奉仕活動を行った。

会員企業21社から27人が参加。開始に先立ち廣瀬会長は「今回清掃するバスターミナルは、福井鉄道の駅の時代から、町の交通の要。現在も、学生からお年寄りまで地域の多くの人々が利用している。みなさんが気持ちよく利用できるよう、我々の技術を駆使して、徹底的にきれいにしたい」とあいさつ。

その後、参加者は各バスターミナルに分かれて作業を開始。ガラス清掃や待合室のタイル洗浄・クモの巣除去、トイレ清掃、外床の高圧洗浄などを行った。

今回の活動について、越前町企画振興課の正木俊行主査は「町でも簡単な清掃は行っているものの、プロの手で行き届かない部分まできれいにしたい」などと、協力の申し出に対する感謝の気持ちを表した。

同協会の直近の地域貢献(清掃)活動は、4月に足羽川河川敷で、昨年10月には福井市の北の庄城址資料館で実施。

協会の事業目的は、建築物の衛生的で、健康かつ快適な生活環境の保持増進のため、建築物における衛生的環境の確保に関する正しい専門知識と技能の普及を促進する。環境衛生の向上と、安全・安心環境の構築に寄与することとしている。